

地震動の擦痕(国指定重要文化財)

伊豆の国市南江間

1. 概要

昭和5年11月26日に伊豆半島を襲った北伊豆地震はマグニチュード7.3と推測され、272人もの死者をだした。この時の地震動の記録が伊豆の国市南江間に残っている。北伊豆地震のおよそ半年前に海軍より下付された一基の魚雷についての擦痕が、当時の地震動の激しさを今に伝えている。

2. 観察のポイントなど

魚雷に残る傷痕は忠魂碑の付属物として海軍より下付され展示されているものだった。地震動によって台石が魚雷の表面を削り、長さ725mmの傷痕を残した。ただし、地震動の合計が725mmというわけではない。

魚雷と台石が地震計となって地震の記録を残した例として非常に珍しいものである。現在は傷痕が観察できるように展示されている。

3. アクセス

伊豆箱根鉄道韮山駅から千代田団地行きバス乗車、グランド入口バス停下車徒歩数分、グラウンドの一角にある。車の場合は韮山駅から県道静浦港韮山停車場線を走って約5分(駐車場はありません)。



[魚雷に残る擦痕]



[全景]